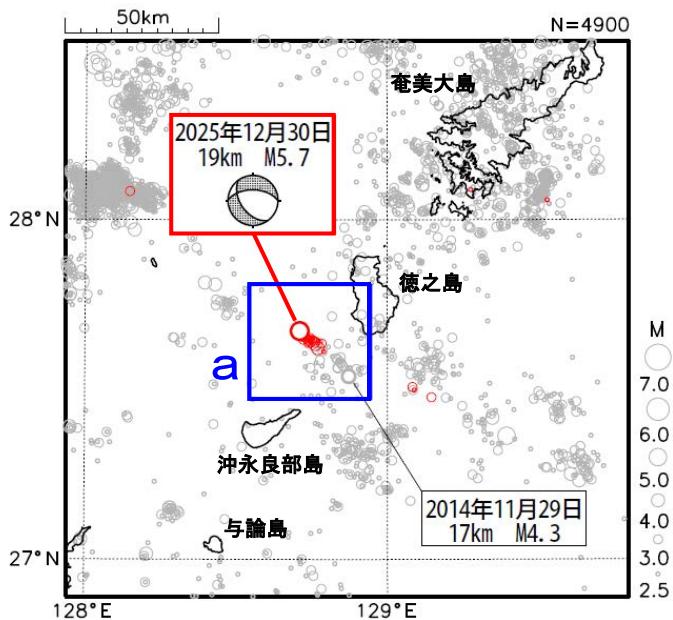


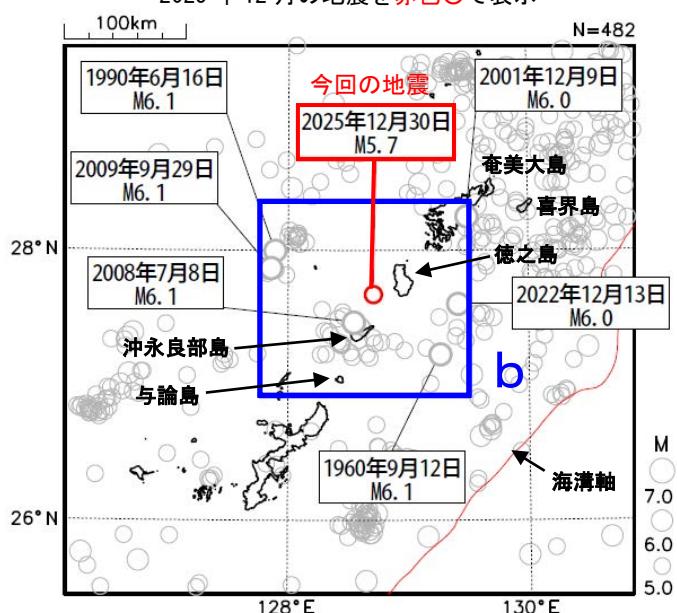
12月30日 奄美大島近海の地震

震央分布図

(1994年10月1日～2025年12月31日、
深さ0～30km、M≥2.5)
2025年12月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図
(1919年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～100km、M≥5.0)
2025年12月の地震を赤色○で表示

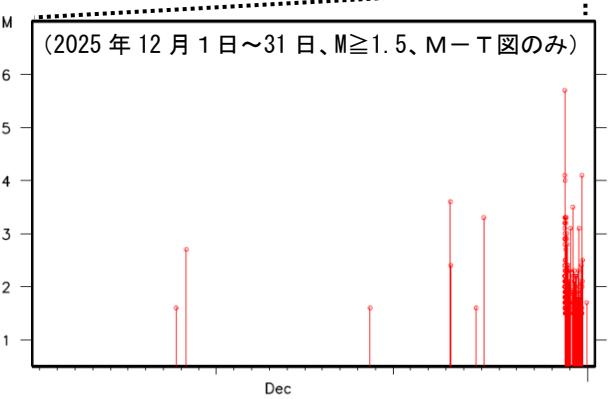
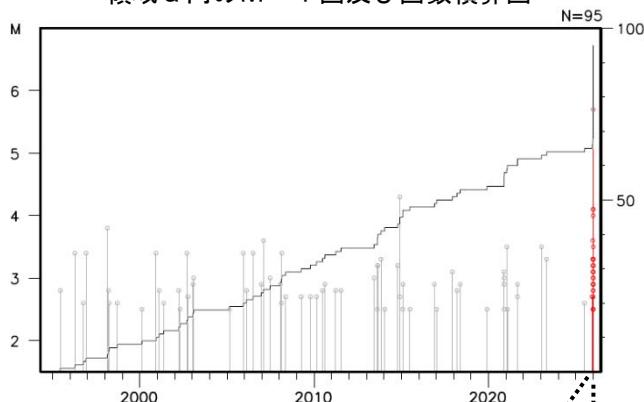


2025年12月30日17時12分に奄美大島近海の深さ19kmでM5.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は陸のプレート内で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北東～南南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、2014年11月29日にM4.3の地震（最大震度2）が発生するなどM4程度の地震は時々発生しているが、M5.0以上の地震は発生していない。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が6回発生している。2008年7月8日にはM6.1の地震が発生し、与論町のホテルで壁の落下、石膏ボードの破損などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

